

## 継承日本語教育教師研修 フローチャート

それぞれのコース名をクリックすると、その詳細ページが開きます。

		日本語能力				
		3級	2級		1級	
		初級	中級	上級		
日本語教師経験年数	7年		基礎Ⅱ		専門	講師養成
	5年					
	3年	基礎Ⅰ		速成		
	1年					
目 標		<p><b>【基礎Ⅰ】</b> 経験の浅い教師を対象として以下の能力・知識・技術を習得し、特に初級前半クラスの運営技術を身につける。</p> <p>①日本語教師としての日本語能力の向上 ②継承日本語教育・言語教育の基礎理論 ③日本語教授法（初級前半） ④文化的活動の基礎指導技術</p>	<p><b>【基礎Ⅱ】</b> 中堅教師を対象として以下の能力・知識・技術を習得するとともに初級コースのコースデザインの方法も身につける。</p> <p>①継承日本語教育・言語教育の応用理論 ②日本語教授法（初級後半、技能別指導法、対照年齢別指導法、評価法等を含む） ③文化活動・行事指導法</p>	<p><b>【速成】</b> 高い日本語能力を有するが経験の浅い教師を対象として、以下の能力・知識・技術を習得するとともに保護者・地域社会との連携を図り、学校運営に協力できる実践力を身につける。</p> <p>①継承日本語教育・言語教育の基礎理論 ②日本語教授法（初級前半） ③文化的活動の基礎指導技術</p>	<p><b>【専門】</b> 継承日本語教育を主目的とする日本語学校や地域で指導的立場にある教師として必要な専門知識を習得する。 本年度は初級後半（日本語能力試験3級程度）から中級（日本語能力試験2級程度）にかけての指導法及び継承日本語教育教材作成能力を身につける。</p>	<p><b>【講師養成】</b></p> <p>* 継承日本語教育を主目的とする日本語学校の教師を育成するため、専門性を持った講師としての指導技術と知識を習得する。 * 中南米における継承日本語教育の実践、日本語指導全般についての専門的知識、後進教師への教授法指導に必要な内容を習得する。</p>